



8/2 15:00 関空から中国東方航空で延吉へ



8/3 6:00 琿春 龍源公園で朝の太極拳



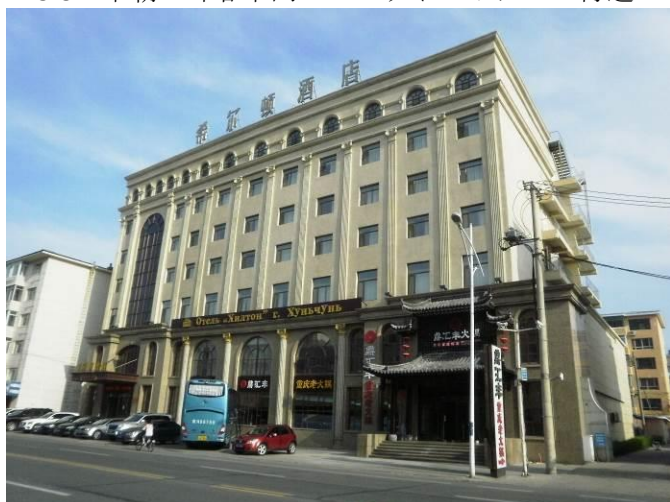
ホテルから 10 分くらいの龍源公園で朝の太極拳を見かけた。52 式陳式太極拳を練習していました。服装もそろえて力強い太極拳を演じていました。



8/3 早朝の琿春市内 シェラトンホテルの付近



街には電気自動車、3輪車が走っている。



国境沿いの防川（中・朝・露国境）見物・見学です



防川・望海閣からロシア・中国・北朝鮮の国境を望む。

川の向かいは北朝鮮、3か国の旗で国境の方向が大体分かる。左の沼はロシア領ハサン湖、右の川は豆満江、対岸は北朝鮮、その間が中国領。

豆満江にかかっている橋は「親善橋」と呼ばれる、565mの鉄道橋。1938年日本軍とソ連軍が衝突した、張鼓峰事件が起こった地。



防川・望海閣の前で集合写真。中国・朝鮮・ロシアの3国が見える防川のタワー、望海閣から国境地帯を眺めました。川の向かいには北朝鮮、山をはさんでロシアが見えます。国境とは思えない緑豊かな静かな風景です。防川・望海閣前の駐車場。



友誼大橋の向かいは北朝鮮。広場に江沢民の碑石が。





友誼大橋は北朝鮮との国境の橋。オレンジ色が中国領



国境付近は観光客が記念撮影を。



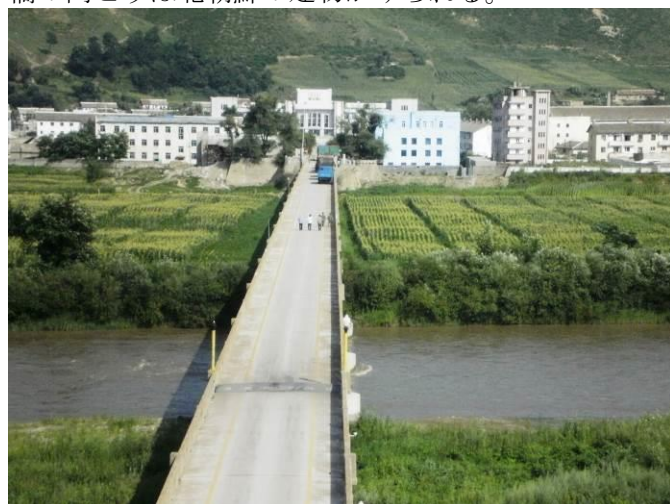
トラックが北朝鮮へ。



北朝鮮から観光客が返ってくる。韓国人は近づけないらしいが、私たち日本人は国境へむけての橋（友誼大橋）を国境まで行くことが出来ました。



橋の向こうは北朝鮮の建物がみられる。



大型貨物トラックは、ひっきりなしに往来しています



友誼大橋は北朝鮮との国境の橋。国境の街です、中国側は賑わっていますが、対岸の北朝鮮側は人の気配はありません、大型貨物トラックが行き交います。

北朝鮮との国境にある友誼大橋では、中ほどにある国境まで歩いてゆきました。トラックが行き交い、北朝鮮からも観光客歩いてが帰ってくる静かな国境です。遊覧船から橋を見ると色分けがしてあり国境線が良く分かります。北朝鮮側には人影は見られません、監視の制服を着た兵隊を見かけるぐらいで平凡な橋の上の国境ラインでした。川の流れは意外にきつく濁っていました、手の届くくらいの所まで船は近づきましたが、一人軍人らしい方を見かけたぐらいでした。

8/4 今回の平和の旅の目的の 1 つ長白山瀑布から長白山頂上にある天池へ長白山観光。



8/3 詩人・尹東柱の通った大成中学校



龍井という地名がついた井戸



観光バスから登山バスへ乗り換えには 1 時間以上並びます。下は長白山瀑布、ここも多くの登山客が。



長白山瀑布は天池から流れ出た水が、1 km ほど下がったところで作り出す、落差 6 8 m の滝。東北地方では最大の滝。滝からさらに 1 km ほど下流には長白山温泉群がある。



長白山は延辺朝鮮族自治州と北朝鮮の国境にある休火山。標高 2744m。山頂にカルデラ湖の「天池」がある。水面標高 2150m。

韓国、北朝鮮では白頭山と呼ばれ、朝鮮民族の聖山とされ、8 月初旬は観光のベストシーズンで、中国人 (70%) 韓国人 (030%) 観光客でにぎわう。



長白山頂上にある天池は快晴で、水面が青く光っている。



長白山頂上で集合写真



頂上の天池めざして中国各地と韓国から来るすごい人の群れで、どこでも1時間以上行列に並んでバスで移動します。当日はピークで3万名が押し寄せ、昼ごろには入山規制になりました。前日は2万名でした。



頂上付近にも多数の観光客

頂上までバスを2回乗り換えて、すごいスピードでかなり乱暴な運転をします。1回目は観光バスを降りて登山バスへ乗り換え、長白山天池や長白山瀑布へ向かいます。長白山天池へはもう1度ジープに乗り換えます。

頂上は2744m、天池の表面は2150m、上から眺める水面は青空を映してブルーが輝いて神秘的な景色でした。晴天に恵まれましたが暑さと人の多さに圧倒された長白山でした。下山も2回暑さと長い行列に閉口しながら我慢の登山でした。



ドライブインで朝鮮人参を売っていた。



韓国ツアー客がよく買うらしく、「活性参」という表示で並んでいる。長白山麓でとれた「活性参」はいろいろと効用があるらしい。75g 100円で販売していた



8/3 尹東柱の生まれた龍井へ。同志社大学に留学。1995年今出川キャンパスに詩碑が建立された。



尹東柱の生家がある龍井(上)や日本領事館あと(下)



大成(龍井)中学校、尹東柱詩碑紀念館



8/5 延辺人民政府を表敬訪問。
日本語のできる池さんから館内の案内を受ける。お二人とも同姓の池さんでした。



対外協会の池美映と外事弁公室副主任の池延準両氏



両氏が2組に分かれて館内を案内



10階建ての建物が大きな広場をはさんで2つあり、一つは市政府、もう一つは中国共産党の事務所として使用していました。



レリーフの前で集合写真お土産にお酒(白酒)をいただきました。渡辺さんをはさんと、延辺外事弁公室の3名の係りの人と。



30名が館内を案内され、フレンドリーな交流でした。



夏休み中の延辺大学正門



日本語学科を学んでいる11名の現役学生が待っていました。延辺大学日本語学科学生との交流は4班に分かれて構内を散策、学生の皆さんは異口同音に日本を訪れたいと、自己紹介で語っていました。

学生さんたちの日本へのあこがれは強く、留学、結婚、就職と行きたい気持ちが現れていました、



食事をしながら懇親会。



女子学生と和やかに懇談。



8/6 帰国の前に朝鮮民族博物館へ



3団体が企画・実施しました。

日本中国友好協会 大阪府連合会

日本コリア協会・大阪、大阪私学退職者の会

協力：J U観光旅行友の会